



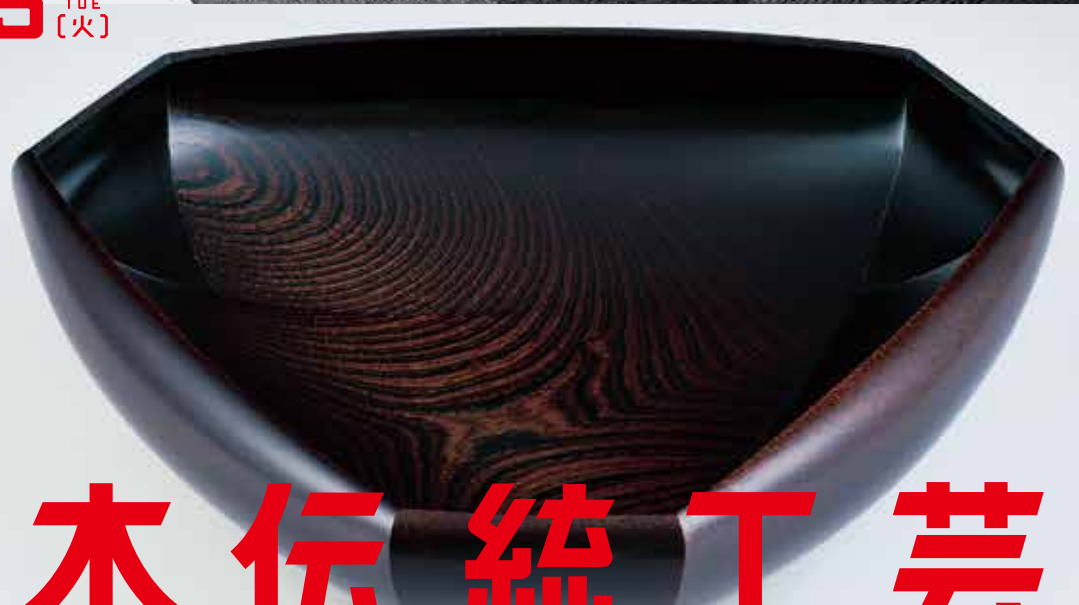
K Ō G E I



2018
12/5 WED [水]
→ 25 TUE [火]

会期中無休

第65回



日本伝統工芸展

【開館時間】10時～18時30分(展示室への入場は18時まで)

【観覧料】一般 当日券 日本伝統工芸展600(480)円、日本伝統工芸展・コレクション展セット750(600)円
前売券 500円(日本伝統工芸展のみ)

大学生 当日券 日本伝統工芸展400(320)円、日本伝統工芸展・コレクション展セット500(400)円

高校生以下
無料

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付添の方は観覧無料※前売券は、ローソン各店(Lコード61384)、チケットぴあ窓口(Pコード769-336)、セブンチケット及び各プレイガイドにてお求めになります。(販売期間:11/1～12/25)

【主催】島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、
公益財団法人しまね文化振興財団、NHK松江放送局、
朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本
工芸会、SPSしまね

【後援】鳥取県、鳥取県教育委員会、公益財団法人しまね産業振興財団



【上から】高松宮記念賞【漆芸】乾漆螺鈿天牛箱 しんたに ひとみ、日本工芸会会長賞
【陶芸】線描幾何文花入 森田 由利子、日本工芸会保持者賞【木竹工】櫻拭漆鉢 川口 清三



日本伝統工芸展は、工芸界最大規模の公募展として知られ、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に、昭和29年以来毎年開催されてきました。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門から、厳正な審査を通過した作品が全国12会場で展覧されます。松江展では、入選作全625点の中から、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品48点をはじめ、受賞作16点、地元山陰在住作家の入選作11点を含む約300点を展示いたします。

記念講演会 12/9(日)13時30分～(13時開場/約60分) 聴講無料

講師: 福島善三[陶芸作家、重要無形文化財「小石原焼」保持者(人間国宝)]

演題: 「小石原に生きる存在証明」

会場: 美術館ホール(190席/先着順)

【福島 善三(ふくしま ぜんぞう)】

昭和34年、福岡県朝倉郡東峰村小石原に生まれる。17世紀末から続く小石原焼窯元・ちがい窯を営む祖父と父に師事し技法を習得。日本伝統工芸展では、平成15年日本工芸会総裁賞、同25年に高松宮記念賞受賞。古くから用いられてきた小石原の陶土や釉薬を研究し、その特質を活かした現代的な表現に取り組む。平成29年重要無形文化財「小石原焼」保持者認定。

ギャラリートーク(出品作家による各部門の展示作品解説) 要観覧券観覧料

日時: 12/8(土) 【諸工芸】白幡 明[本展第一次鑑査委員]

12/9(日) 【陶 芸】福島 善三[人間国宝、本展第一次鑑査委員]

12/15(土) 【人 形】青江 桂子[本展第一次鑑査委員]

12/16(日) 【木竹工】川口 清三[本展第一次鑑査委員]

12/22(土) 【漆 芸】高橋 香葉[日本工芸会正会員](松江市)

各日14時～(ただし9日は講演会終了後) 会場: 企画展示室

地元作家トーク(地元出品作家による「広瀬餅」に関するレクチャー) 12/23(日・祝)14時～

【染織】「広瀬餅」永田 佳子 [日本工芸会正会員](安来市) 要一部観覧券観覧料

美術館ロビーで「広瀬餅」の歴史や特徴について60分程解説後、展示室で30分程「広瀬餅」作品を前に解説を行います。

美術館ロビーでのご参加は無料。展示室でのご参加には観覧料が必要です。

会場: 美術館ロビー・企画展示室



毎週木曜日の午前中は「かぞくの時間」(こどもといっしょの鑑賞優先時間など)を実施しています。詳細は美術館HPでご確認ください。

次回企画展予告

開館20周年 記念展 **北斎** 永田コレクションの全貌公開(序章)
2019年2/8(金)～3/25(月)



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<http://www.shimane-art-museum.jp>



1.【陶芸】青瓷壺 坂本 章(鳥取市) 2.【人形】桐葉布紙貼「インサイド」青江 桂子 3.【諸工芸】有線七宝蓋物「露雨」橘詰 峯子(鳥取市) 4.【諸工芸】紅の花器「わだつみ」白幡 明 5.【陶芸】瑠璃釉壺 森 和之(鳥取市) 6.【木竹工】楓造拭漆手箱 門脇 盛人(安来市) 7.【人形】紙塑紙貼「雨のち晴」吾郷 江美子(出雲市) 8.【陶芸】中野月白瓷鉢 福島 善三(人間国宝) 9.【漆芸】存清盒「ゆらく」高橋 香葉(松江市) 10.【染織】広瀬餅着物「童歌」永田 佳子(安来市) 11.【木竹工】樺造拭漆盛器 濱田 幸介(松江市)